

大会名称: 第3回FIBA U-17男子バスケットボール世界選手権大会

開催場所: Al Shabab Arena(アラブ首長国連邦・ドバイ)

試合区分: No. 141 男子 決勝ラウンド・13-16位順位決定戦トーナメント コミッショナー: Goran RADONJIC (FRA)

期 日: 2014(H26)年8月15日(金)

主審: Ilya PUTENKO (RUS)

開始時間: 14:15

副審: Youssouf Boubacar MAIGA (MLI), Hatim Hamed ALHARBI (KSA)

終了時間: 15:55

日本 (通算1勝5敗)	○ 91	23 -1st- 16 23 -2nd- 9 27 -3rd- 13 18 -4th- 11 -OT1- -OT2- -OT3-	● 49	UAE (通算0勝6敗)
----------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------	---------	-----------------

第3回FIBA U-17男子バスケットボール世界選手権大会は大会6日目。日本は決勝ラウンド 13-16位順位決定トーナメント、現在0勝5敗のどうしのアラブ首長国連邦と対戦。

#### 1ピリオド

UAEは、2-3ゾーンディフェンス、日本はマンツーマンでゲームが始まる。日本は、#14八村のポストプレイや#15平岩のリバウンドシュートで先制。しかしその後、インサイドを中心に守るUAEに、外からのシュートが決まらずにいたが、徐々に#7武藤の3本の3Pを含む11得点や#10牧の7得点などが決まり、加点する。一方UAEも、ドライブを中心とした攻撃で反撃。23-16で終了する。

#### 2ピリオド

2ピリオドに入ると、#9納見、#10牧の連続3Pが入り、さらに#14八村のダンクシュートを含む連続7得点で流れは日本、18-36と一気に引き離す。UAEは、ゾーンディフェンスからのファーストブレイクを狙い、ドライブで積極的にゴールに向かい、日本のファールが増えてくる。それでも#6平のジャンプシュートや#13ナナーのインサイドプレイで加点し46-25で前半を折り返す。

#### 3ピリオド

UAEはオールコートマンツーマンを仕掛けてくるも、日本は落ち着いてボールを運び、#10牧、#14平岩が得点を重ねる。しかし、UAEのドライブからの攻撃に、日本はファールを取られる。それでも#7武藤の体を張ったディフェンスが光り、カットからのブレイクや3Pショットで勢いに乗る。さらにUAEのドライブ攻撃に対してカバーディフェンスがうまく回りだし得点を抑えることに成功する。UAEは、#7武藤にフェイスガードするも、#12軍司のジャンプシュートが決まり、73-38と大きくリードする。

#### 4ピリオド

#4前田の連続3P、2Pで順調な滑り出し。UAEは、ゾーンとマンツーマンを使いながら守る。#9納見や#4前田の連続3Pで得点を重ねるも、UAEは日本のインサイドをつぶしにかかり、ディフェンスを頑張る。しかし、日本は終始リードを保ったまま、90-48で初勝利する。

決勝ラウンド、順位決定トーナメント、日本最終戦は13位-14位の順位決定戦。8月16日(土) 9:45(現地時間)よりエジプトとの対戦。

担当: 公益財団法人日本バスケットボール協会